

Strangers Abroad

「知られざる未開社会」

英国セントラルTV1986年作品 60分×6巻 セット価格: 240,000円+税

幾世紀ものあいだ、旅行家、冒険家、探検家らは見知らぬ国や地域の文化に魅せられてきた。最も部族的な社会は、「原始的」と見なされたり、「劣っている人々」と思われていた。19世紀末の人類学という新しい学問の発祥によりそのような見方、考え方が全く変えられ、「未開」に対し大いなる理解と尊敬を示すようになったのである。このシリーズは人類学者マーガレット・ミードをはじめ6名の著名な人類学者らがオーストラリアのアボリジニ族、カナダ・エスキモー族、インド南部の山岳部族トダス、トロブリアンド諸島民、アフリカのアザンデ族、アメリカ、バリ島、ニューギニアの人々とそれぞれ生活をともにしながら記録したその体験を紹介する。社会人類学が現代思想の形成に果たしてきた貢献は計り知れない。英語版／英文スクリプト付。各巻分売価格 45,000円+税

各巻内容

第 1 巻 サー・ウォルター・ボールドウィン・スペンサー
取材地域 オーストラリア、アボリジニ。
原 題 Fieldwork: Sir Walter Baldwin Spencer

第 2 巻 ウィリアム・リヴァーズ
取材地域 トレス海峡、南インド。
原 題 Everything Is Relatives: Dr. William Rivers

第 3 巻 フランツ・ボアズ
取材地域 カナダ、エスキモー、北米インディアン。
原 題 The Shackles of Tradition: Franz Boas

第 4 巻 ブロニスラフ・マリノフスキー
取材地域 トロブリアンド諸島。
原 題 Off the Verandah: Bronislaw Malinowski

第 5 巻 マーガレット・ミード
取材地域 サモア、ニューギニア、バリ島。
原 題 Coming of Age: Margaret Mead

第 6 巻 サー・エドワード・エヴァンズ=プリチャード
取材地域 スーダン、アザンデ族。
原 題 Strange Beliefs: Sir Edward Evans-Pritchard

